

意見交換会報告書

開催日時	令和7年11月10日（月）開始：午前10時40分 終了：午後0時10分
開催場所	金城大学 医療健康学部棟2階 H209、H210、H211講義室
対象団体	金城大学学生（1～3年生）
参加人数	50人
出席議員	撫子 正、横山由裕、平野辰子、山本佳裕、谷 健一、原 卓二、木谷和栄 中野 進、大屋潤一、田代敬子、吉本史宏、澤田昌幸、寺越和洋、藤田政樹
役割分担	司会：大屋、開会挨拶：藤田、閉会挨拶：吉本 意見交換 1班：木谷・横山、2班：寺越・平野、3班：中野・撫子 4班：原・大屋、5班：田代・谷、6班：山本・澤田

意見交換会テーマ：「多様な声を行政にどう反映させるか」

1班

白山市に来てどう思うか。

- ・大学周辺は田んぼが多く、自然が豊かであるが、買い物できる場所がなく不便。
- ・車を持っていないので授業の空き時間に行くところがない。
- ・道がきれいに整備されていて、アクセスはよい。
- ・公園が多く子供たちの遊べる場所は多いが、バスが少ない。
- ・公共交通機関が整備されると、もっと来やすくなる。（もっと整備してほしい。）

18歳になってから、投票に行ったか。

半数の生徒が投票に行ったと回答

政治へのイメージは。

- ・仕事の範囲が広い。
- ・その政治家が何をやったのか調べないとわからないし、政治のイメージはできない。
- ・LINEやインスタグラム等で情報発信している方は身近な人というイメージはある。
- ・政治に関する授業をやれば政治との距離が縮まる。

投票率を上げるには

- ・SNSで議員の活動をもっと流す。
- ・選挙に出ている方の自己紹介PR動画を作ったらどうか。
- ・インターネットで投票できるようにすればよい。（若者の投票率は上がる）

議会報告会・意見交換会を通して思ったこと

- ・議員は雲の上の人と思っていたが身近に感じた。

- ・怖いイメージがあったが、報告会で実際に会うと穏やかな方だと思った。
- ・親しみやすかった。意見交換ができてよかった。
- ・白山市のイメージを改善するにしてもコストがかかる。街づくりは難しい。
- ・自分の住んでいる町や、地元の議員を調べてみたい。
- ・政治に関して知らないことばかりだった。
- ・政治に興味を持った。いろいろと調べて投票に行きたい。
- ・白山市について、もっと調べたい、知りたいと思った。

2班

政治を身近に感じるにはどうしたら良いか

- ・政治は遠く、自分達の意見が反映されるにはどうしたら良いか。議会が身近に感じられない。
- ・若い人や女性は特にSNSを利用している。そこを活用して意見を聞く。学校などでアンケートを取り（強制的に）回答の場を設ける。
- ・自分たち世代はテレビ・新聞を見ないことから、二次元バーコードでアンケートを行う。
- ・駅や大学にポスターを掲示し二次元コードから回答を求める。
- ・ネット投票等できたら参加が増えると思う。
- ・大学にある質問ボックスでは、躊躇するところがあり、ネットで意見表明や回答・投票できたらよい。
- ・自分たちが政治に関わるのは投票しかないにとらえているが、アンケートなど配布してもらい回答したい。
- ・教育機関でアンケートを取ったり、小・中学校、高校と政治に関心が持てる機会を設けたりしてはどうか。

政治とは、政治のイメージは

- ・ニュースで見るがよくわからない。
- ・政治参加は投票。
- ・当選した議員がよい街を作ろう、国民のために何かをしようとしていること。
- ・国民のニーズと政策を結びつけ、国民が暮らしやすくなる政策をつくっている。

白山市の良い所と課題

（良い所）

イオンモール白山がある。美川近くに住まいの方は小松市、金沢市両方に行けるので良い。

松任アピタ近くに住まいの場合、周辺がにぎわっている。

（課題）

- ・白山市内は無人駅があり、夜間は防犯の観点から不安である。「防犯カメラあります」といったポスターを張り出すだけでも違うと思うので、検討してほしい。美川駅前も暗い。

- ・大学周辺に早く来たとき、時間を使えるスタバやカフェがあればよい。
- ・福井県や富山県から通学時、1時間に1本と少なく、増やしてほしい。車がないと行動できない。買い物にも行けないので、バスの本数を増やしてほしい。コミュニティバスめぐーるは日曜日が休みのため都合が悪い。
(議員) 電車等は県や国にも働きかけていく必要あり。
- ・道路が混んでいるので、整備してほしい。渋滞を無くしてほしい。(白山市近郊に企業があるのもある。)

3班

ワカモノや女性など、多様な意見を反映させるためには、どのような取組が必要だと考えますか？

- ・女性を含む、いろんな世代の議員と何か面白いテーマで意見交換をしてはどうか。
- ・ガス代が高い。学割があればよいと思う。
- ・SNSなどのツールを活用して、ポイントや図書カードのサービスがあればよい。
- ・困りごとや意見をどこに伝えればよいか分からない。買い物時のレシートを活用し二次元バーコードでアンケートをとる。回答者にはポイント付与する。

白山市の今後について

- ・地域の子供から高齢者までの交流が多いといい。
- ・道の駅めぐみ白山、トレインパーク白山(加賀笠間駅周辺)がもっと発展するといい。
- ・若い人がたくさん住みたくなる施設があるといい。

その他意見

- ・医療費について、高校生以下の白山市民は無償化のため費用を気にせず受診できる。

4班

白山市に求めるもの。その他自由意見

- ・介護を受けている高齢者が不自由なく暮らせるようになるとよい。
- ・交通面が不便である。また、料金が高い。学費も高い。
- ・医療現場が高齢化しているのでは？(公立つるぎ病院)
- ・図書館もしくは学習スペースをもっと身近な場所に作ってほしい。
- ・公共交通機関をもっと便利にしてほしい。
- ・高齢者の介護施設について、費用が高い。
- ・物の値段が高い。
- ・医療、介護の現場の待遇をアップすべき。

5班

ワカモノや女性など、多様な意見を反映させるためには、どのような取組が必要だと考えますか？

- ・スマホでアンケートをとる。
- ・SNSでの情報が集めやすいので、活用する。

- ・買物先での情報提供も必要ではないか。
- ・障がい者も含めて、T i k T o k、Y o u T u b eなどのSNSも有効。
- ・障がい者については施設で家族も含めて紹介したり、アンケートを取ったりできるのではないか。
- ・定期的に女性などに意見を聞く機会を持つ。

政治と生活は本来、密接に結びついて切り離せないはずなのに、現実なぜこれほど乖離して感じられるのか

- ・日本人のことを考えていない。外国人のことばかり考えている。
- ・政治の言葉が難しい。
- ・政治家の話していることが大きなことを言っていて、理解できない。
- ・自分は密着していないと感じているが、税金やガソリン減税等、現実には密着している。
- ・政治家の人達がやっていることが理解できない。何をしているかがわからない。
- ・テレビを見ないので理解できない。

白山市に求めるもの。その他自由意見

- ・道路の白線、ゼブラゾーン等が消えているところが多い。
- ・加賀笠間駅近くにコンビニがないので、不便である。

6班

若者、女性の意見を取り入れていくには

- ・授業の一環でアンケートをとれば、伝わるかわからないが、それをやると伝わるのでは。また、アンケートは選択形式であれば回答するのでは。
- ・SNSで意見を言う（責任を取らない）匿名で言いやすい。
- ・若者はSNSが一番であり、T i k t o k・インスタグラム・Xなどを活用する。

政治と生活は本来、密接に結びついて切り離せないはずなのに、現実なぜこれほど乖離して感じられるのか

- ・選挙が一番伝わる。意見を明確にして複数人の賛同者を作る。
- ・選挙に行っている。行くべきと考えている。（合わせて8割）

その他 自由意見

- ・学校内のW i - F iについて環境が悪い。

白山市の今後について

- ・自然豊かで空気がきれいでいつまでも大切にしてほしい。
- ・自然や文化を大切にしている。今後も守ってほしい。
- ・交通が不便であり、車を持たないと通学できない。
- ・電車・バスの本数を増やしてほしい。
- ・白山市の魅力（祭りなど）を伝承して伝えてほしい。